

2026年度

北海道文教大学 卒業生調査報告書

2026年9月25日

0	調査概要	P1
1	質問 1 現在の就職（進学）先は、入学当初の志望と一致していますか？	P2
2	質問 2 就職する際、重視したポイントは何ですか？	P4
3	質問 3 離職・転職の理由は何ですか？	P6
4	質問 4 在学中に身に付いた能力のうち、就職後に特に役立っていると思うものはどれですか？	P8
5	質問 5 就職活動で役立ったと感じる、大学側の支援を教えてください。	P10
6	質問 6 数多くの大学の中から北海道文教大学に入学を決めた理由を教えてください。	P12
7	質問 7 就活において、在学中に大学から支援してほしいことを教えてください。	P15
8	質問 8 就活以外の内容で、在学中に大学から支援してほしいことを教えてください。	P16
9	質問 9 就活に関して、後輩に一言アドバイスをお願いします。	P17
10	質問10 理学療法学科・作業療法学科卒業生限定の質問です。 就職後に役立った科目を教えてください。	P21
11	総評と比較	P22
12	追加総評	P23

0 調査概要

設問

質問1 現在の職業・進学先は、入学当初に志望していた進路と一致していますか？

質問2 就職する際、重視したポイントは何ですか？＜最大3つまで＞

質問3 離職・転職の理由は何ですか？＜最大3つまで＞

質問4 在学中に身に付いた能力のうち、就職後に特に役立っていると思うものはどれですか？

質問5 就職活動に役立ったと感じる、大学側の支援を教えてください。＜最大3つまで＞

質問6 数多くの大学の中から北海道文教大学に入学を決めた理由を教えてください。

質問7 就活において、在学中に大学から支援してほしかったことを教えてください。

質問8 就活以外の内容で、在学中に大学から支援してほしかったことを教えてください。

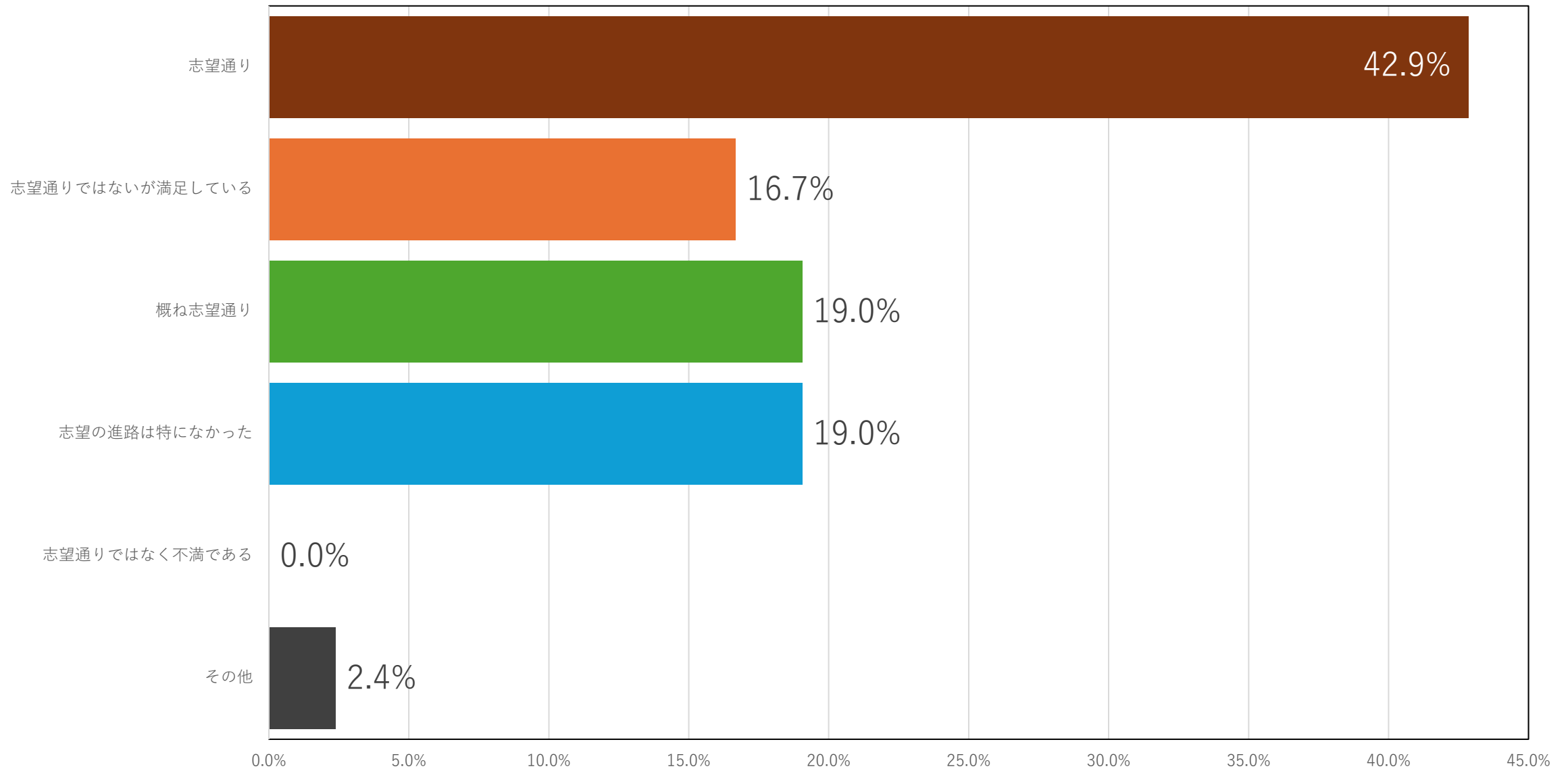
質問9 就活に関して、後輩に一言アドバイスをお願いします。

質問10 理学療法学科・作業療法学科卒業生限定の質問です。就職後に役に立った科目を教えてください。

回答数

7/30に〆切 42名が回答済み

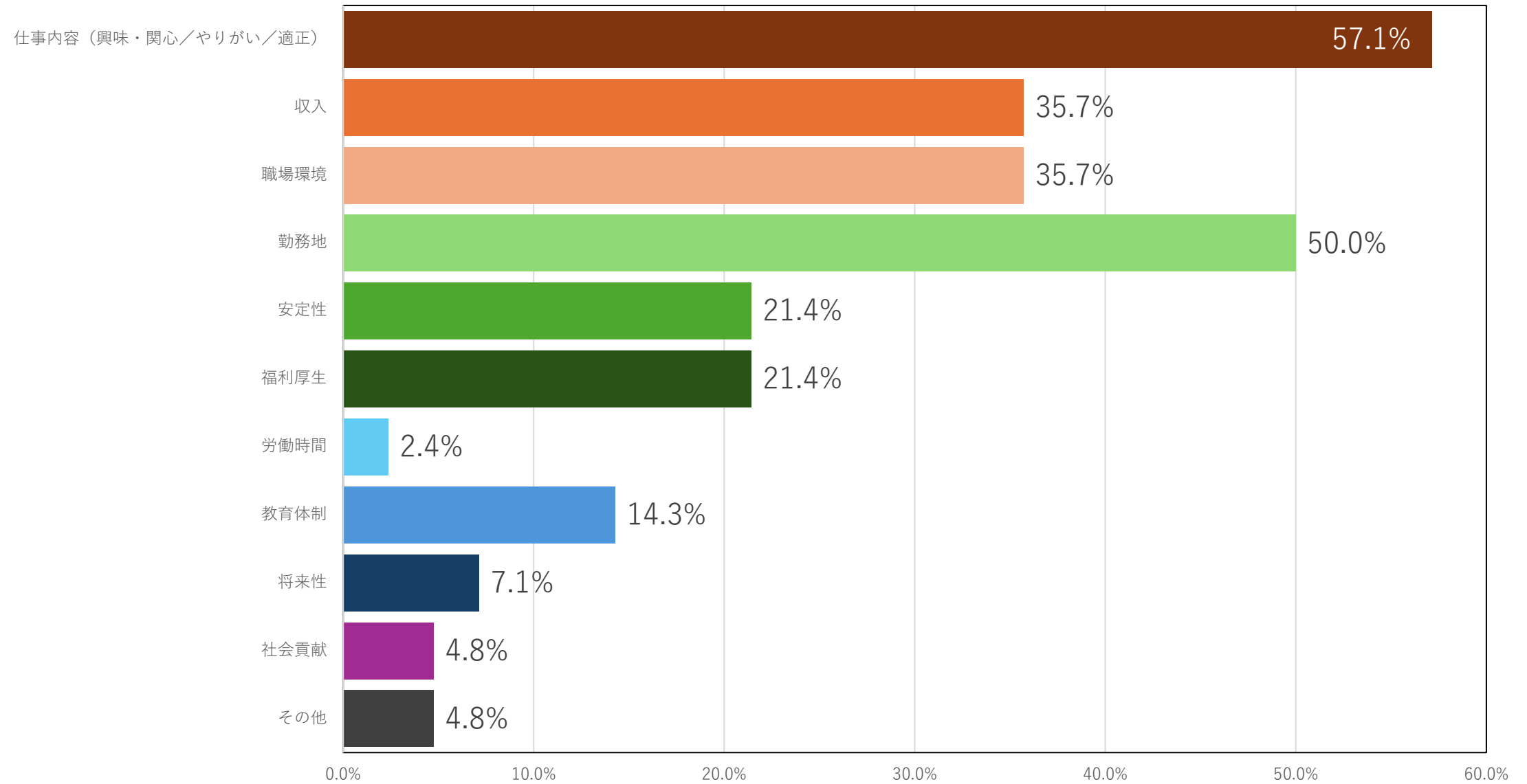
1-① 質問 1 現在の職業・進学先は、入学当初に志望していた進路と一致していますか？



1-② 質問 1 現在の職業・進学先は、入学当初に志望していた進路と一致していますか？

全体42		志望通り	志望通りではないが満足している	概ね志望通り	志望の進路は特になかった	志望通りではなく不満である	離職中	その他
全体		42.9%	16.7%	19.0%	19.0%	0.0%	0.0%	2.4%
	現在も勤務している	41.5%	17.1%	19.5%	19.5%	0.0%	0.0%	2.4%
	現在は勤務していない	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
学科	国際言語学科	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	健康栄養学科	25.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	こども発達学科	62.5%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	看護学科	45.5%	27.3%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	9.1%
	理学療法学科	40.0%	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	作業療法学科	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%

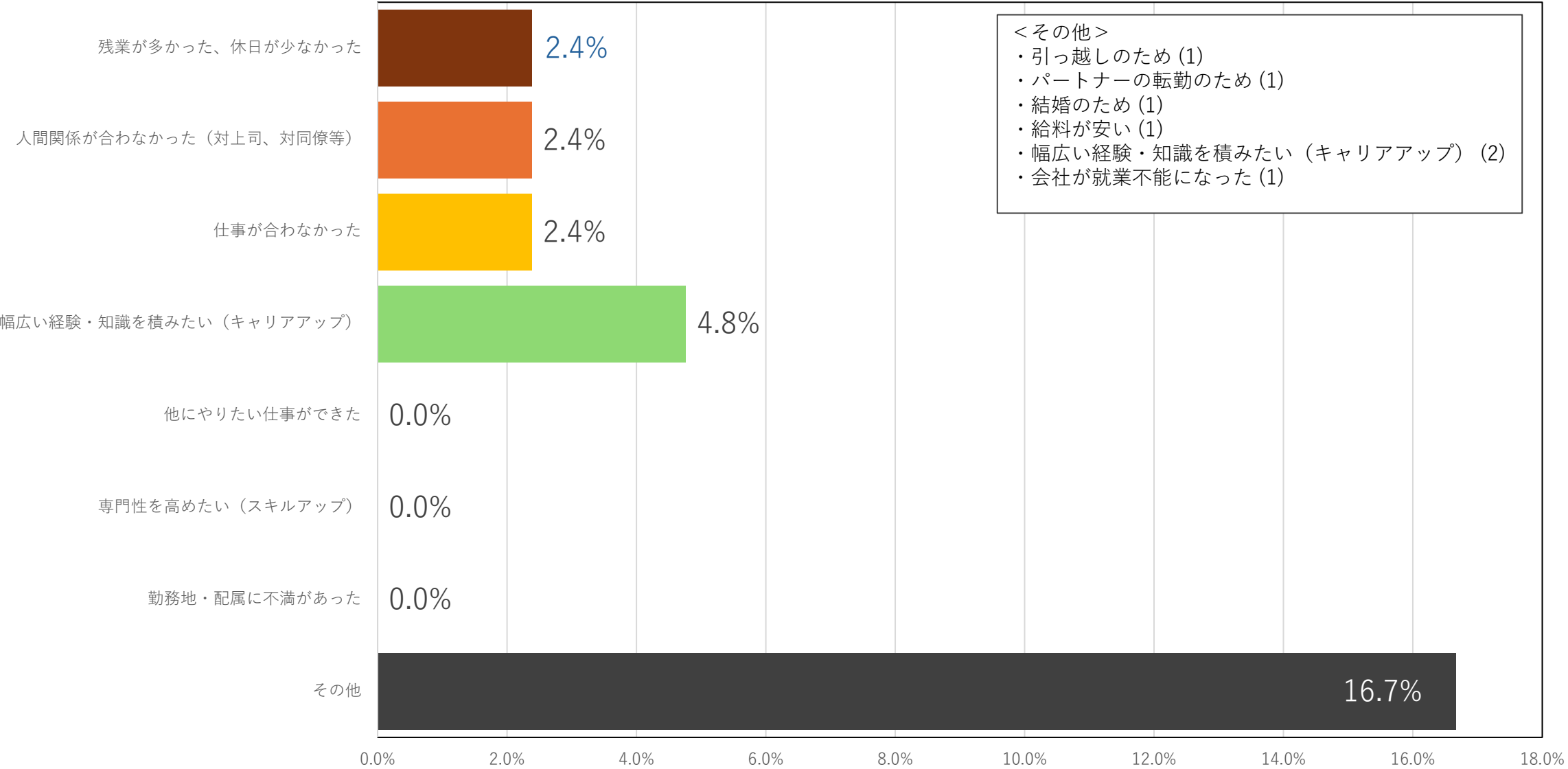
2-① 質問2 就職する際、重視したポイントは何ですか？＜最大3つまで＞



2-① 質問2 就職する際、重視したポイントは何ですか？＜最大3つまで＞

全体42		仕事内容（興味・関心／やりがい／適正）	収入	職場環境	勤務地	安定性	福利厚生	労働時間	教育体制	将来性	社会貢献	その他
全体		57.1%	35.7%	35.7%	50.0%	21.4%	21.4%	2.4%	14.3%	7.1%	4.8%	4.8%
	現在も勤務している	56.1%	36.6%	36.6%	48.8%	19.5%	22.0%	2.4%	14.6%	7.3%	4.9%	4.9%
	現在は勤務していない	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
学科	国際言語学科	66.7%	66.7%	33.3%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
	健康栄養学科	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
	こども発達学科	75.0%	25.0%	25.0%	50.0%	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%
	看護学科	45.5%	18.2%	45.5%	45.5%	18.2%	36.4%	0.0%	9.1%	18.2%	0.0%	9.1%
	理学療法学科	100.0%	0.0%	40.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	作業療法学科	0.0%	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

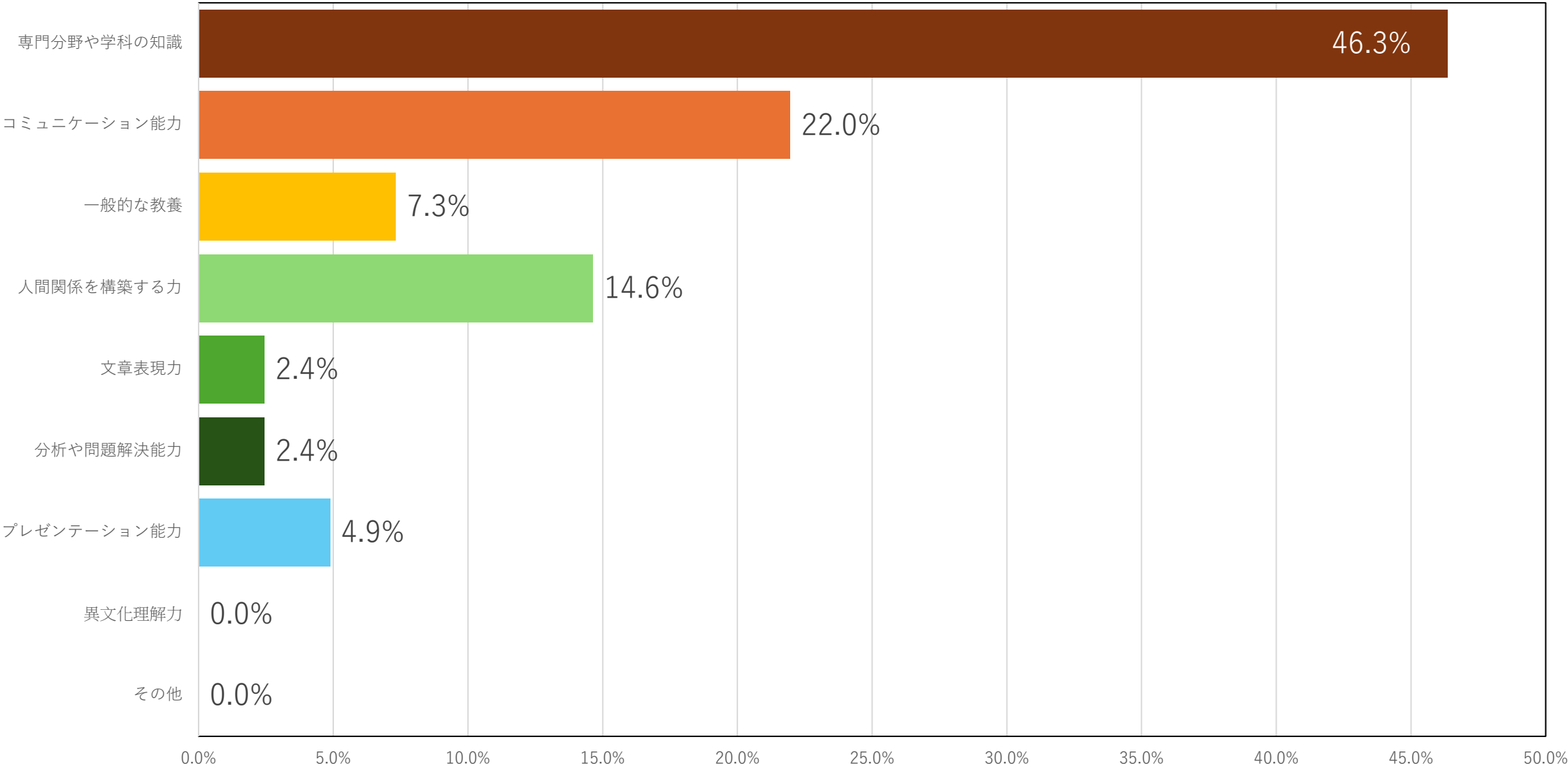
3-① 質問3 離職・転職の理由は何ですか？ <最大3つまで>



3-② 質問3 離職・転職の理由は何ですか？<最大3つまで>

全体9		残業が多かった、 休日が少なかった	人間関係が合わな かった（対上司、 対同僚等）	仕事が合わなかつ た	幅広い経験・知識 を積みたい（キャ リアアップ）	他にやりたい仕事 ができた	専門性を高めたい （スキルアップ）	勤務地・配属に不 満があった	その他
全体		11.1%	11.1%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	77.8%
学科	国際言語学科	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	健康栄養学科	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	こども発達学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	看護学科	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
	理学療法学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	作業療法学科	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

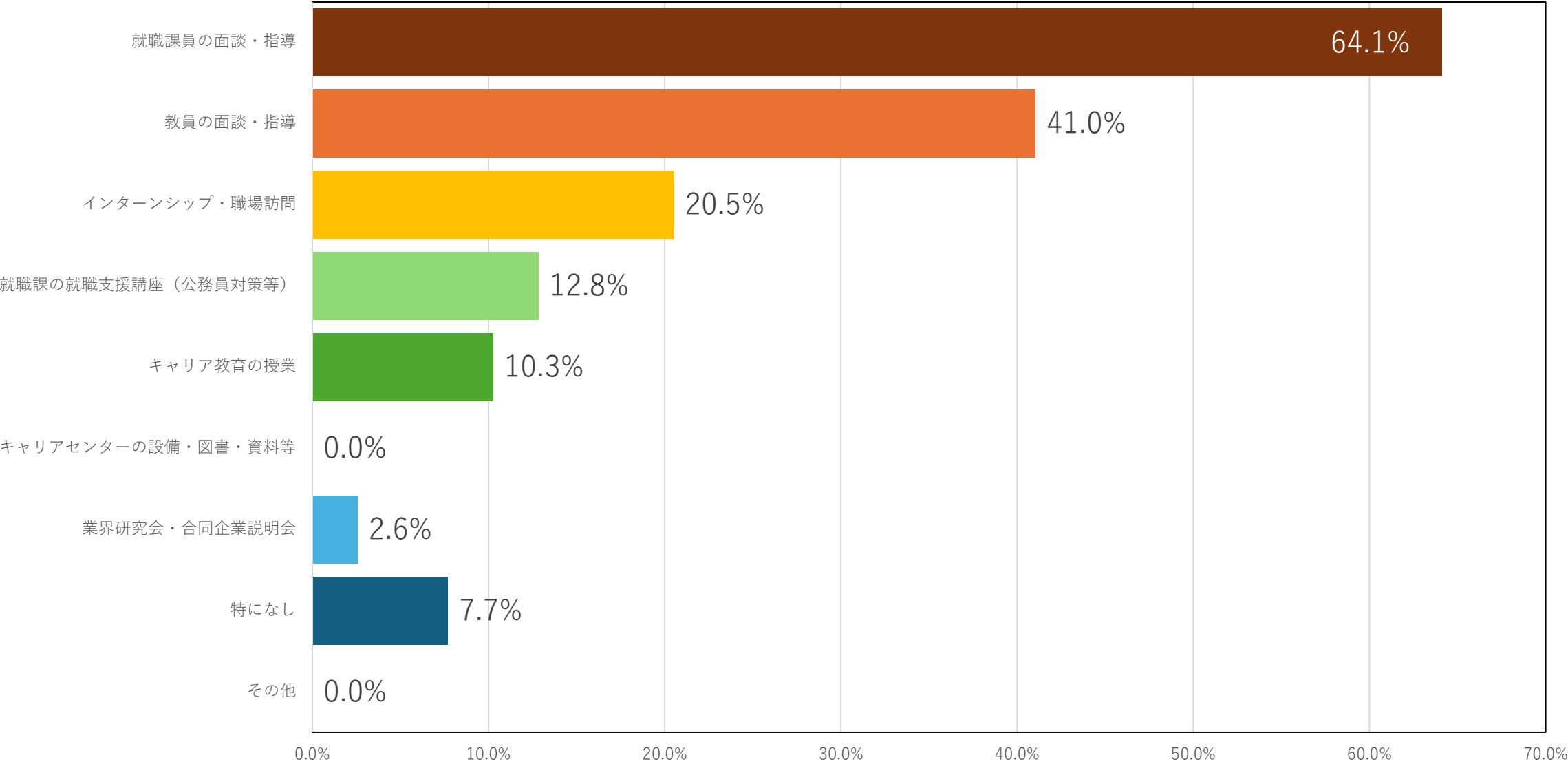
4-① 質問 4 在学中に身に付いた能力のうち、就職後に特に役立っていると思うものはどれですか？



4-② 質問4 在学中に身に付いた能力のうち、就職後に特に役立っていると思うものはどれですか？

全体41		専門分野や学科の知識	コミュニケーション能力	一般的な教養	人間関係を構築する力	文章表現力	分析や問題解決能力	プレゼンテーション能力	異文化理解力	その他
全体		46.3%	22.0%	7.3%	14.6%	2.4%	2.4%	4.9%	0.0%	0.0%
	現在も勤務している	47.5%	22.5%	7.5%	15.0%	2.5%	2.5%	2.5%	0.0%	0.0%
	現在は勤務していない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
学科	国際言語学科	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	健康栄養学科	25.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	こども発達学科	62.5%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	看護学科	36.4%	36.4%	0.0%	9.1%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%
	理学療法学科	60.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	作業療法学科	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

5-① 質問5 就職活動に役立ったと感じる、大学側の支援を教えてください。＜最大3つまで＞



5-② 質問5 就職活動に役立ったと感じる、大学側の支援を教えてください。＜最大3つまで＞

全体39		就職課員の面談・指導	教員の面談・指導	インターンシップ・職場訪問	就職課の就職支援講座（公務員対策等）	キャリア教育の授業	キャリアセンターの設備・図書・資料等	業界研究会・合同企業説明会	特になし	その他
全体		64.1%	41.0%	20.5%	12.8%	10.3%	0.0%	2.6%	7.7%	0.0%
	現在も勤務している	63.2%	42.1%	21.1%	13.2%	10.5%	0.0%	2.6%	7.9%	0.0%
	現在は勤務していない	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
学科	国際言語学科	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	健康栄養学科	75.0%	50.0%	25.0%	25.0%	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	こども発達学科	12.5%	37.5%	62.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%
	看護学科	90.9%	45.5%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	理学療法学科	60.0%	60.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	作業療法学科	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%

6-① 質問6 数多くの大学の中から北海道文教大学に入学を決めた理由を教えてください。

1	家から電車で通える距離に取りたかった資格を取れる大学があったから（こども発達学科）
2	多学科あるのが魅力的だった（護学科）
3	塾の先生の勧め
4	国家試験対策が充実していたため
5	管理栄養士資格取得が可能であることを前提として、商品開発研究会（現商品開発lab.）があり、食品系企業に入社がしやすいと考えたから。（健康栄養学科）
6	学費が安く、社会人入試があった為（健康栄養学科）
7	社会人入試があったため（看護学科）
8	栄養教諭の資格が取れるため（健康栄養学科）
9	偏差値と通いやすさ（看護学科）
10	最初は国公立に落ちてしまったからです。でも入学して文教大学でよかったと思っています。（こども発達学科）
11	国際系の学部で留学制度があったため（国際言語学科）
12	姉が通っていたから（こども発達学科）

6-② 質問6 数多くの大学の中から北海道文教大学に入学を決めた理由を教えてください。

13	オープンキャンパスの雰囲気が良かったから。チャレンジド教室に参加したかったから。最大3つの資格免許を取ることができるから。（こども発達学科）
14	自宅から通いやすく、オープンキャンパスでの雰囲気が良かったから。（看護学科）
15	看護学科の合格率が良く、教授方の評判も良かったため（看護学科）
16	公募推薦を実施してたから（看護学科）
17	志望していた大学への入学が叶わず、自宅から近い就職率の高い大学だったため。（看護学科）
18	先生方のあたたかさを感じたため（こども発達学科）
19	卒業生がたくさんいることや立地条件が良かったためです（理学療法学科）
20	3つの免許がとれる
21	学力が合っていたから（看護学科）
22	特待生制度を利用したかったから。（理学療法学科）
23	外国語に興味があったから（国際言語学科）
24	自宅から通いやすく通学負担が少なかったから。（理学療法学科）
25	アイスホッケーを続けるため（こども発達学科）
26	知り合いの紹介で、教授や設備が整っていると聞いたため。

6-③ 質問6 数多くの大学の中から北海道文教大学に入学を決めた理由を教えてください。

27	何か資格があった方が良かったので
28	自宅から近かったから（看護学科）
29	あたたかい雰囲気でも過ごしやすい校舎だったから（こども発達学科）
30	家の近くに学びたいものがあったから（こども発達学科）
31	ほかの大学が全て落ちたから（国際言語学科）
32	第一志望の受験に失敗したため
33	オープンキャンパスで優しい先輩たちが教えてくれたから（作業療法学科）
34	ディスカバリーがあったから（理学療法学科）
35	自宅から距離が近い（健康栄養学科）

7 質問7 就活において、在学中に大学から支援してほしいことを教えてください。

1	充分でした
2	履歴書等の書き方や面接練習など実施して頂いたこと以外は特になし。（健康栄養学科）
3	資格同士を組み合わせる就職に強いとかそういう話をして欲しかった（健康栄養学科）
4	充分でした
5	卒業生からの就活に関しての進め方の講座など（看護学科）
6	特にはないです（こども発達学科、看護学科、理学療法学科 他）
7	希望先への情報をもっと欲しかった。（看護学科）
8	3年からではなく1年、2年の段階で、情報が欲しかった。筆記の勉強が苦手なのでその辺りの支援があるとありがたい（国際言語学科）
9	適性検査
10	もっと就職先の情報を知りたかった。（看護学科）
11	記憶から抜けているだけかもしれませんが、就活を始める時期や手順など、大まかな流れを教えていただけたら嬉しかったです。
12	行政栄養士の仕事内容など現場で実際に働いている人の話を授業で聞けたら良かった。（健康栄養学科）

8 質問8 就活以外の内容で、在学中に大学から支援してほしいことを教えてください。

1	論文やレポートの内容や書き方・内容について（看護学科）
2	看護過程のアセスメントが苦手だったので、アセスメントの構成や書き方を一人一人をみて教えて欲しかった。
3	特にない（国際言語学科、健康栄養学科、こども発達学科、看護学科、理学療法学科）
4	もう少し社会人入学者を平等に扱ってほしい(人にもると思う)（健康栄養学科）
5	進学に向けたセミナー（看護学科）
6	ゼミに所属してみたかったです。（国際言語学科）
7	専門的な知識や実践できる力 特別支援に関する専門的な知識を深く学べたらよりいいなと思います。発達検査や療法など。 実際に教員になった時に必要なことや準備しておくべきことを具体的に教えてもらえると、将来の進路について、より現実的に考えられると思います。
8	学会参加に関して（理学療法学科）
9	金銭面の負担が大きい割に、どこに使われているのか具体的に分からないため、大学や学生のために使われているなら知りたかった。 （理学療法学科）
10	ほかの資格取得など、重要性（国際言語学科）
11	国試の厳しさ
12	コロナ禍だったので制限が多すぎた
13	アセスメントの課題では、教授方の思考の過程や模範解答が知りたかったです。またコロナ禍だったので仕方がないとは思いますが、日常生活援助技術の練習のため、試験前だけでなく常時演習室を開放していただけたら嬉しかったです。
14	国家試験対策授業の開始時期を早めてほしい。（健康栄養学科）

9-① 質問9 就活に関して、後輩に一言アドバイスをお願いします。

7	早期選考を積極的に受けるべきだと感じました。（国際言語学科）
8	自分の第一志望に入れるように頑張ってください。（こども発達学科）
9	病院の情報収集を早くすることに越したことはないです。（看護学科）
10	教員だけに絞らず、他の職種も考えておきながら進めても良いと思います。（こども発達学科）
11	早めの就活が大切です。またいくつか候補を出すのも大事ですが、自分のやりたいことや今後どうしていきたいのかは絶対にブレないようにしていってください（看護学科）
12	たくさん病院見学に行って比較してみてください。（看護学科）
13	看護師は人材不足の影響から比較的就職活動しやすい傾向にありますが、その病院が求めている人材が自分の長所と不一致だったり、病院の人気さによって就職活動が難しくなる可能性があります。病院の特色を知って、行きたい病院がどういう人材を欲しているのかを知って面接対策をすれば内定率は格段に上がると思います。（看護学科）
14	この大学では、学習面以外でも自分の行動次第でたくさんことを学べます。大学の先生方や友達を信じて頼って、まずはトライ！必ず成長しているはずですよ。最後に自分を信じてください。（こども発達学科）
15	直感で選ぶのも大切だなと思います（理学療法学科）
16	園見学は必ずしたほうがいい。職場の環境をよく見た方がいいと思う。

9-② 質問9 就活に関して、後輩に一言アドバイスをお願いします。

1	面接練習は就職科の方にやってもらった方が心強い。話しやすい先生がいると色々と相談できる為見つけておくと卒業後も安心できる。（こども発達学科）
2	4年間先生方の手厚い指導・教育があり、新卒での病院、転職先でのクリニックで大学での教育が行き届いてると褒められることが多かったです。関東でやっていけるか不安でしたが、楽しくやりがいを持って働けており、チャレンジしてよかったと思います。不安や悩みが多くあると思いますが、友達や先生方と共有し、いろんな選択肢を自分中にインプットすることで後悔のない選択をとれると思います。楽しんで最後の学生生活頑張ってください！応援してます！（看護学科）
3	インターンシップに行って病院の雰囲気を実際に見ること。助産師学校の進学を目指していて就活をしていない学生は、殆どの人達が就活をして内定を貰い始めてる中で不安になるけど、気にせず自分の進路のことだけを考えること！不安になったら先生や助産師の進学を目指してる友達に話すと精神的に安定します！
4	ガクチカなど早いうちからまとめて置くと色々楽になる。（健康栄養学科）
5	求人票や会社見学だけで判断するのではなく、その就職先の口コミや実際に働いてる人からの声を聞いた上で判断しても良いと思う。焦って決めても失敗するだけだから、よく考えて動いて本当にその会社で、働いていけるかを想像して下さい。（健康栄養学科）
6	大学でできること（サークルや課外活動、部活）は何かしらしておくとお社会に出たら便利。周りとの関わり方や話のネタになります（健康栄養学科）

9-③ 質問 9 就活に関して、後輩に一言アドバイスをお願いします。

	自分は1つ落ちて、2つ目の就職先で採用されました。今思えば1つ目よりも今の職場の方が圧倒的に良かったと思っています。
17	なので、不採用になっても次受けるところの方が良いこともあります。これは縁や運だと思います。焦らず見極めてください。 見学ではリハビリ室の雰囲気重視の方が良いです。（理学療法学科）
18	どの仕事も努力次第で転職する際に有利になります（作業療法学科）
19	早く動けば動くほど有利なので諦めずに頑張ってください。説明会など積極的に参加やインターンを経験すると強いです。（国際言語学科）
20	面接では第一印象と元気を意識して挑みましょう！（理学療法学科）
21	自分のやりたいことを大切に！（こども発達学科）
22	やりたいことはどこでもできるけど人間関係は変えられないという言葉の通り、人間関係がよいところだと働きやすく自分のやりたいことができる環境だと思います。自分の心と体を大切にできる場所を選ぶことが大切です。（こども発達学科）
23	実習先や、バイトで就職先を知るべき（こども発達学科）
24	面接や提出物等の添削を先生方からしっかり指導してもらってください（国際言語学科）

9-④ 質問9 就活に関して、後輩に一言アドバイスをお願いします。

25	就職後しばらくは慣れないことも多く辛い時期が来るので、ここで働きたいと思ったところに就職するのが一番いいと思います。インターンシップで実際の病棟の雰囲気を見てみたり、低年次の看護師に話を聞いてみたりするのがおすすめです。
26	行きたい所、気になる所の見学に積極的に行った方が職場の雰囲気がわかりやすいと思います！（作業療法学科）
27	色々な病院を見に行くべきだと思います（理学療法学科）
28	悠長に構えており、国試対策と就活の開始時期が周囲より遅めだったので、大変焦った記憶があります。当たり前のことですが、何事も早めに手をつけておく気持ちに余裕を持って取り組むことが出来ると思います。（健康栄養学科）

10 質問10 理学療法学科・作業療法学科卒業生限定の質問です。就職後に役に立った科目を教えてください。

就職後に役に立った科目	回答人数
1 基礎的な解剖、生理学や運動学	1
2 実習科目	1
3 精神系の科目	1
4 義士装具学	1
5 高次脳評価学	1
6 実技	1

11 講評（就職等支援委員会並びにキャリア教育センター運営委員会にて検討の結果）

- ・回答者数が少なかったことは、良くも悪くも今の本学を表しているのではなかろうか。在学中に充実した時間、若しくは不満を持って過ごした時間が多い場合、回答者が増えるのではないかと考える。回答数から全体の1割程度の学生が在学中に“何かを感じて”過ごしていたことが推察される。
- ・回答者のコメントからは、当事者意識の欠如が感じられた。自分自身の人生であり、就職なのだから、自分で情報を手に入れることが必要なのだと思う。しかし、そもそも大学に期待をしていない印象や自身で情報を手に入れるよりも、誰も与えてくれなかったという感じが読み取れた。
- ・質問4「在学中に身に着いた能力のうち、就職後に特に役立っていると思うものは？」において、「専門分野や学科の知識」が回答として最多となるのは、現場の資格保有者として実務遂行において必要最低限の能力であることを踏まえれば、特にキャリアや人生経験の浅い彼らにとっては当然の回答結果として分析できるのではないかと感じられる。
- ・人間関係を構築する能力や分析や問題解決力は、さまざまな職場で必要となる能力であるが、卒業生は役立っているという実感が得られていない。これらの力は、学内および学外学習の中で培われていると考えられるが、「どのような力を指しているのか」、または「それが社会に出てどう繋がるか」といった認識が低い可能性がある。社会人基礎力に関わる能力であるため、「人間関係を構築する能力」や「分析や問題解決力」の具体的な理解を促し、社会でどのように活かされるのかについてイメージできるように、在学中の教育を強化していく必要があるのではないかと感じられた。
- ・半数以上が「キャリア教育の授業が役立った」0%であり、これまでの「キャリア教育」の学びがあまり効果的に作用していないことが明確になった。「キャリア教育」授業で、キャリアの基本的な考え方や個々のキャリアプランの重要性などの理解を深め、将来の自分の生き方や職業人としての自分の在り方を考えるための基盤となるよう改善が必要であると思われる。
- ・「業界研究会・合同企業説明会」など大学の支援が役立ったかについて0%の学科が多いが、これまで学科内では、様々な企業説明会の情報を提供し、様々な方法にて理解を深める機会を作ってきた。実際に学生はこれらの情報を基に企業説明会等に参加してきたはずだが、それを大学の支援と捉えていないのではなかろうか。
- ・就職課や教員の面談指導が突出して高いことから、人的な伴走支援を学生は求めていると考えられる。
- ・本来、就職面接などで求められるのは、自己分析などを基に志望理由や就職先への貢献、自身の将来設計などについて深く語れることであり、「キャリア教育」ではその礎の部分を担当するはずであるが、学生が「キャリア教育」授業と就職活動のつながりが感じられない内容や構成となっている可能性があり、早急に改善が必要な部分と考えられる。

12 結論と改革点（就職等支援委員会並びにキャリア教育センター運営委員会にて検討の結果）

①キャリア教育の改善と充実

- ・「専門知識の習得」と「採用選考で問われる力（人柄・対話力）」は別物であり、大学全体としての「キャリア教育」は後者、特に自然な対話コミュニケーション力・自己理解・言語化能力・汎用性スキルの教育を強化する必要がある。
- ・卒業生のアンケート回答から、専門知識に加えてコミュニケーション能力や人間関係を構築する力が就職後に役立っているという評価、一方、企業アンケートからは大学に対してマナーを含む人間教育や、学生との接点の充実を求めているという評価から、「キャリア教育」を低年次（1・2年次）から段階的に導入することへのニーズが強いと思われ、その点が重要である。

※以上のことから、企業が求める人材像と、卒業生が実際に就職後に必要と感じている能力の双方を踏まえ、本学の「キャリア教育」「専門教育」「学生支援」のつながりを図り、改善につなげていくことが必要であると考えられる。そのため「キャリア教育」を抜本的に見直し、かつ全学共通の科目として見直しを図ることが必要である。特に、卒業後に「本学に対するプライド」を持てるような打開策を講じる。

②進路支援活動

- ・大学全体として行っている進路支援（就職支援）活動を可視化し、学生と共有する方法を改善し、かつ強化を図る。

③卒業生とのつながり

- ・本学の現状は、卒業生全体の傾向がつかめていない。今後は、卒業生とのつながりを強化し、在校生への指導として還元する仕組みを構築する。

1)卒業生のデータベース化

2)全学的なホームカミングデーの実施

3)同窓会との連携強化と協力体制